

大館鳳鳴高等学校（定時制課程） 中期ビジョン（5か年計画）

I 本校が目指す姿

1 学校の現状や課題

本校は、働きながら学ぶ生徒や、多様な目標を持って入学してくる生徒たちの学びの場を保障するための、多部制（Ⅰ部、Ⅱ部）、単位制、2学期制の定時制課程です。また、小・中学生等のための「スペース・イオ おおだて」を併設し、さらに就職情報ネットワーク会議を主催するなど県北地区の定時制基幹校でもあります。令和3年度から通級指導も始まりました。現在の課題は、生徒一人一人の個性や能力、進路目標に応じた多様かつ最適化された個別指導の充実です。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

地域全体（鹿角小坂、大館、北秋田）の中学卒業生数は減少していますが、定時制課程を希望する生徒は相当数存在します。労働人口の減少が確実な中で、本校卒業生は地域を支える貴重な人材です。関係機関と連携し、本人の個性や能力を最大限に生かした就職、進学を実現するためのキャリア教育がさらに求められます。

3 スクール・ポリシー

（1）グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

生徒一人一人が新しい時代を生きる人間として希望と誇りをもち、思いやりの心を大切にするとともに勤労と責任を重んじ、学びを通して自己実現を図り、心身ともに健康で社会の発展に貢献できる人間の育成を目指します。

- ① きめ細かな学習指導で基礎学力の定着を図り、自ら学び、日々向上に努める生徒を育成します。
- ② 勤労を尊び体験を通して自己の適性を理解し、将来に夢と希望をもち、社会の変化に主体的に対応できるコミュニケーション能力をもった生徒を育成します。
- ③ 生徒会活動や学校行事を通して、社会の一員としての責任感や協調性を養い、心豊かでたくましい生徒を育成します。
- ④ 命や人権を大切にするとともに、礼儀正しく思いやりのある生徒を育成します。

（2）カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

- ① 多部制、単位制、2学期制の定時制高校です。
 - ・昼間の部と夜間の部があり、無理のない生活リズムで学校生活が送れます。
 - ・1日4時間のじっくり落ち着いた学習と、趣味やアルバイト、ボランティアなどの時間を両立しながら、安心して4年間で卒業を目指すことができます。
 - ・1日5時間の授業に挑戦することで、3年間で卒業を目指すこともできます。
 - ・前期と後期それぞれで単位認定があり、卒業単位を満たすと4年生の9月に卒業することも可能です。
- ② 一人一人の理解度に応じた学びを展開します。
 - ・学び直しと基礎学力の定着を重視し、教職員が親身にサポートします。
 - ・グループ学習を通じて他者と教え合い学び合うことで、自ら学ぼうとする姿勢やコミュニケーション能力を高めます。
 - ・ICT機器の積極的な活用や少人数授業により、個に応じた学習活動を展開します。
 - ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを推進します。
 - ・資格取得を奨励し、積極的に単位認定します。
- ③ 多くの成功体験を積み重ね、自己肯定感や自己有用感を育みます。
 - ・生徒主体の学校行事を計画し、達成感や充実感を高めます。

・学年を越えた活動を通して、他者の思いや考えを受け止めながら自己理解を深め、積極的な対話でよりよい考えを生み出す創造力を身に付けます。 ・ふるさと学習では、学校内外の様々な学習機会を活かし、探究的な学びにつながる教育活動に取り組み、自分の意見を自らの言葉で語ることができる力を身に付けます。 ・地域の文化や伝統を積極的に学び、豊かな人間性や社会性を身に付けます。 ④ 多様な生徒一人一人の可能性を大切にします。 ・学校生活に不安を抱える生徒に対し、個々のニーズに応じた丁寧な支援・相談を行うとともに、さまざまな機関とも連携してサポートしていきます。 ・生徒一人一人が自分の良さや可能性に気付き、互いの違いや価値観を認め合えるように「心の教育」を推進します。
(3) アドミッション・ポリシー（求める生徒像）
① 基本的生活習慣が確立している生徒 ② 社会的・職業的自立を目指して、卒業まで学業を続ける意志のある生徒 ③ 生徒会活動や資格取得に積極的に取り組む意欲のある生徒

Ⅱ 5年間を通しての具体的な目標と取組

1 5年間を通しての具体的な目標
① 資格取得を奨励し、ビジネス系（情報処理、ワープロ）、教養系（英検、漢検）の資格取得に主体的に取り組む態度を育成します。 ② 基礎学力を身に付け、社会に貢献できる人材を育成します。 ③ 主体的に進路実現に取り組む態度を育成します。
2 目標を達成するための具体的な方法、取組等について
(1) 学習指導
[基礎学力の定着] 学び直しとして学校独自の科目（国語・数学・英語）を設けます。 [個別指導の充実] 資質・能力、進路目標に応じた個別指導を充実させます。 [ICT活用の推進] 1人1台タブレット端末や電子黒板等のICT機器を効果的に活用し、生徒の適性や能力、学習状況に応じた多様な学びを推進します。
(2) キャリア教育
[基本的生活習慣] ・ホームルーム、授業、生徒会活動、学校行事、部活動など、あらゆる場面において基本的生活習慣や望ましい言動、立ち居振る舞いについての指導を行います。 [コミュニケーション能力の育成] ・他者との関わりを通じて、協働的かつ主体的に課題を解決する力を育成します。 ・必要に応じて「通級による指導」を実施し、ソーシャルスキルトレーニングを意図的・計画的に行います。 [幅広い職業観の育成] ・企業見学や学校見学、インターンシップを実施します。 ・連携する外部機関等の講師による講話を実施します。
(3) 教育相談
[面談の充実] 入学前面談や入学後の継続した個別面談を通じて生徒理解を深めます。 [教育相談の充実] スクールカウンセラー等との面談の機会を確保します。 [外部機関との連携] 高等学校特別支援チームの協力のもと校内支援体制を整備するとともに、就労に関する支援を受けるなど、個々の生徒に応じた支援を行います。

令和3年6月策定 令和5年6月一部改訂 令和7年4月一部改訂



秋田県立大館鳳鳴高等学校（定時制）桜楯館

おうじゅんかん

～ 自分らしく、堂々と、胸を張って、夢を語ろう!! ～



校訓

質実剛健
自立共生
進取飛翔

教育理念

生徒一人一人が新しい時代を生きる人間として希望と誇りをもち、思いやりの心を大切にするとともに勤労と責任を重んじ、学びを通して自己実現を図り、心身ともに健康で社会の発展に貢献できる人間を育成します。

グラデュエーション・ポリシー ～卒業までにこのような力を伸ばします～

- ① きめ細かな学習指導で基礎学力の定着を図り、自ら学び、日々向上に努める生徒を育成します。
- ② 勤労を尊び体験を通して自己の適性を理解し、将来に夢と希望をもち、社会の変化に主体的に対応できるコミュニケーション能力をもった生徒を育成します。
- ③ 生徒会活動や学校行事を通して、社会の一員としての責任感や協調性を養い、心豊かでたくましい生徒を育成します。
- ④ 命や人権を大切にするとともに、礼儀正しく、思いやりのある生徒を育成します。



カリキュラム・ポリシー ～社会に必要とされる人材になるために、私たちが大切にしていること～

特別活動

- ・無理なく参加する学校行事
- ・生徒会活動
- ・部活動全員加入
- ・自分で考え、自分で行動する力
- ・多様性を認め、他者とのつながりをつくる
- ・協働による自分発見

キャリア教育

- ・インターンシップ
- ・職業観、勤労観の育成
- ・ボランティア活動
- ・地域人材を活用した講話
- ・生徒体験発表
- ・人との関わり、対話力
- ・社会的自立
- ・あいさつ、礼儀、所作



<自己効力感>
分かる・できる
やれる!



自分の今が
未来につながる!

校時表

昼間の部	1～4校時 [13:10～16:25]
夜間の部	6～9校時 [17:50～21:05]
※三修制	5校時 [16:30～17:15]

ゆっくり、じっくり4年間、
5校時も頑張って3年間で卒業

基礎学力の定着

- ・国数英を中心とした『学び直し』
- ・少人数指導、個に応じた学習支援
- ・対話型による『教え合い』 & 『学び合い』
- ・各種検定への挑戦（漢検・英検・情報処理）
- ～じっくり、丁寧に、親身なサポート～

ふるさと教育

- ・地域をフィールドとした教育的資源を活用
- ・ICTを活用した探究活動で課題解決能力を育成
- ・他者の考えを受け入れ、自らを語れるコミュニケーション力
- ・地域の文化や伝統の学びを通じて郷土愛を醸成

インクルーシブ教育

- ・細やかな面談と見守り
- ・スクールカウンセラーとの継続的な面談
- ・通級による指導（ソーシャルスキルトレーニング）*
- ・個性の尊重と受容
- ・居場所づくり
- ・安全で安心できる学校



<主体的学習>
学んで楽しい
もっと知りたい

協力／支援／連携

家庭・PTA・鳳鳴会・教育振興会・地域・企業・関係機関

アドミッション・ポリシー ～このような生徒を待っています～

- ① 基本的生活習慣が確立している
- ② 社会的・職業的自立を目指して、卒業まで学業を続ける意志がある
- ③ 生徒会活動や資格取得に積極的に取り組む意欲がある



<新しい自分探し>
・前向きな自分に変わりたい
・勉強を学び直したい
・未来に希望をもちたい